

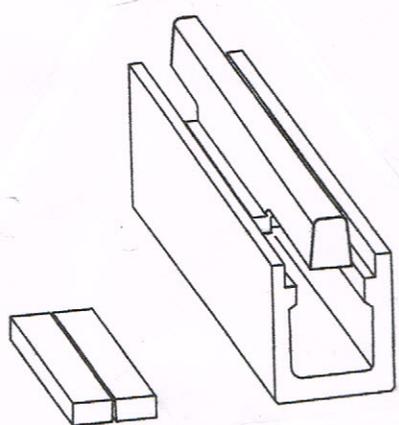
水はけのよい自転車通行帯

歩車道

ロング境界ブロック蓋側溝

フラット街渠

設計資料



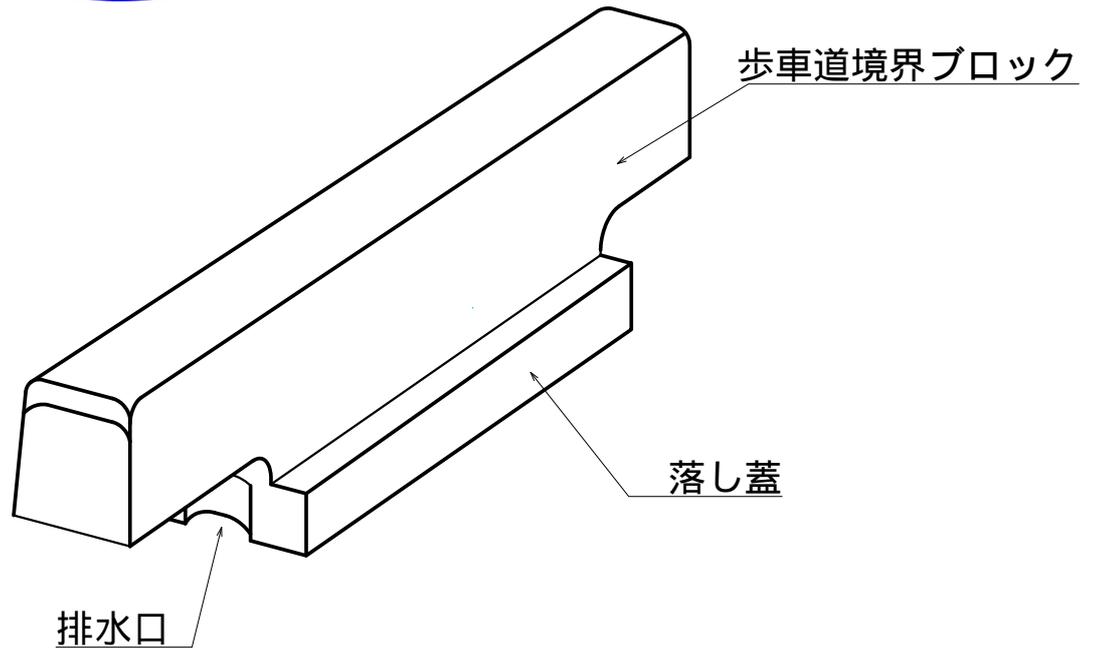
水路技術研究会

歩車道境界ブロック直下が
自由排水ラインとなります。

水はけがよく安全な

フラット歩車道境界ライン

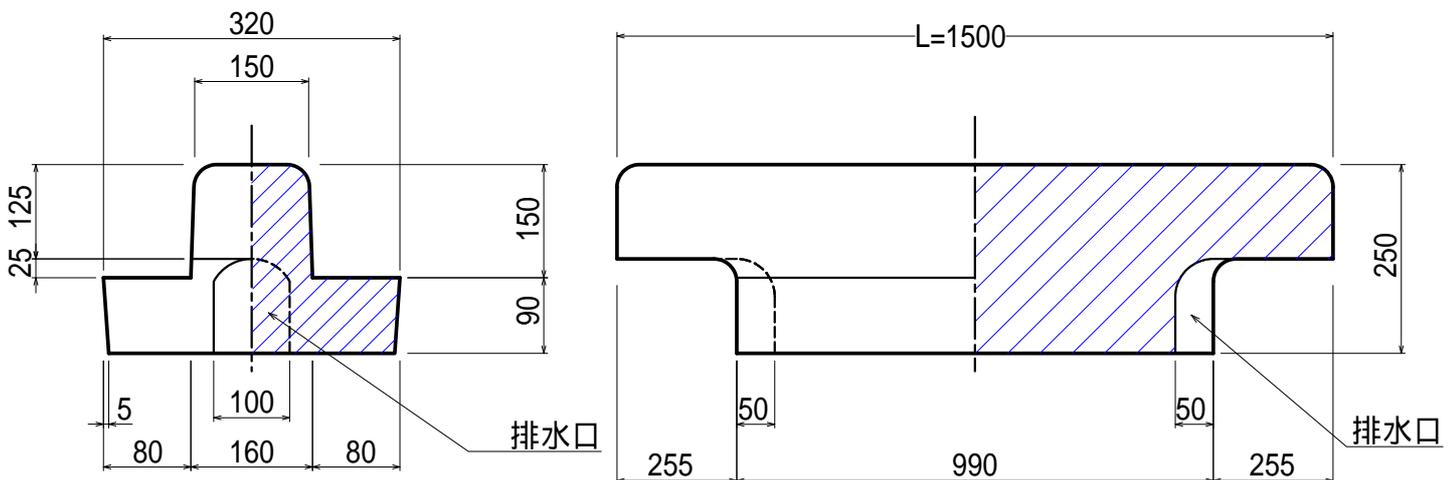
ロング
境界蓋



規格

標準型

重量 144kg



- 備考 1. 側溝サイズ300用 (JIS 250相当) です
2. 乗入部、端末用は別図参照

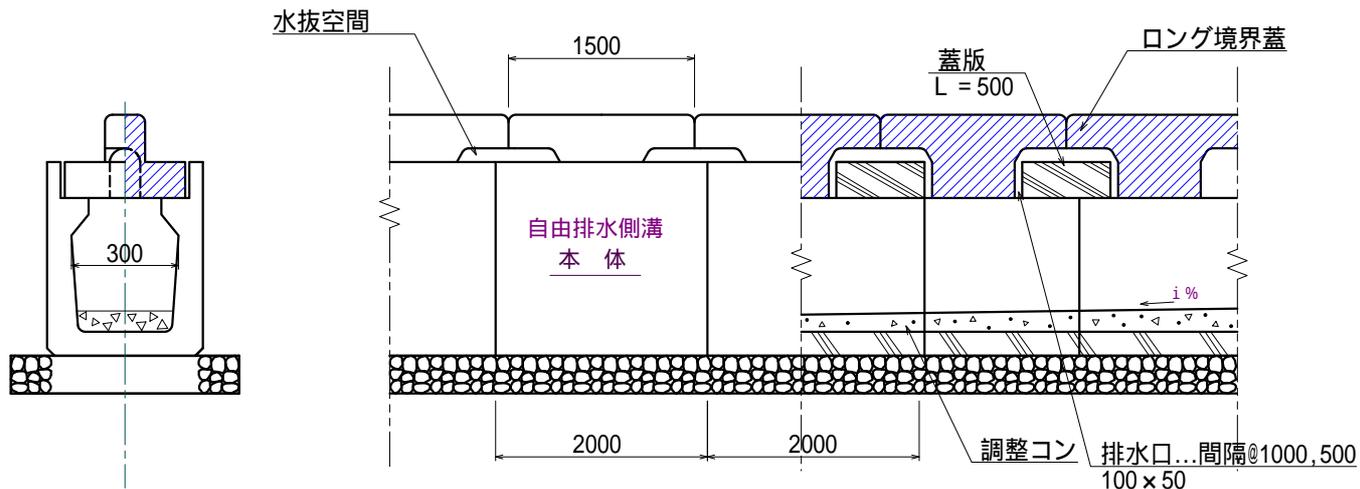
工法・展開図

自由排水側溝は

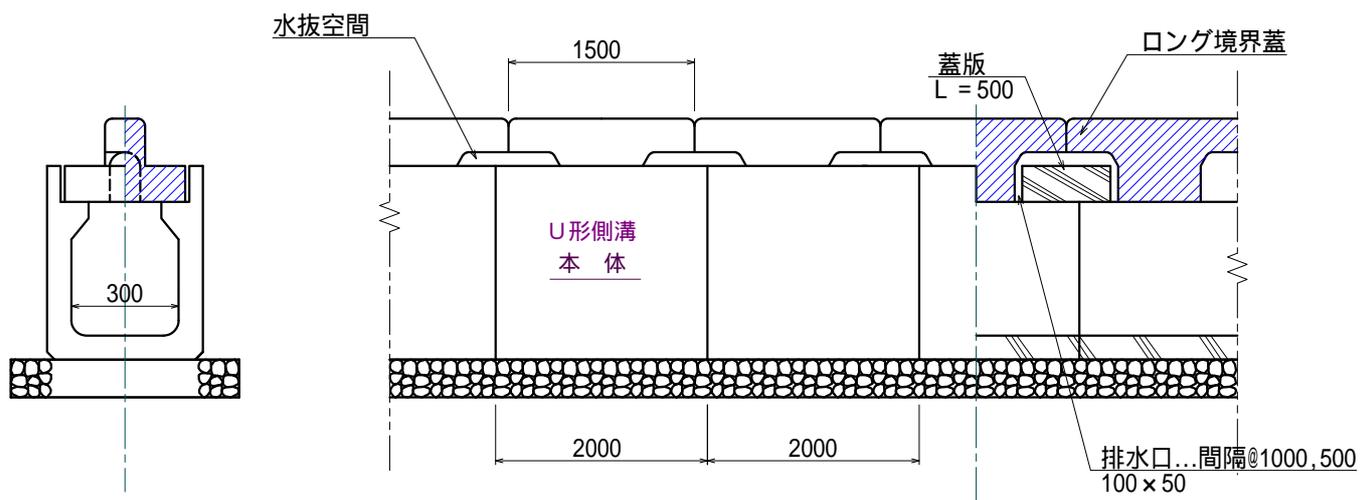
上開きで水深流速を得やすい形状のまま底壁のみ垂直か、やや下開きです。
調整コンが安定します。

別冊資料参照

自由排水



順勾配

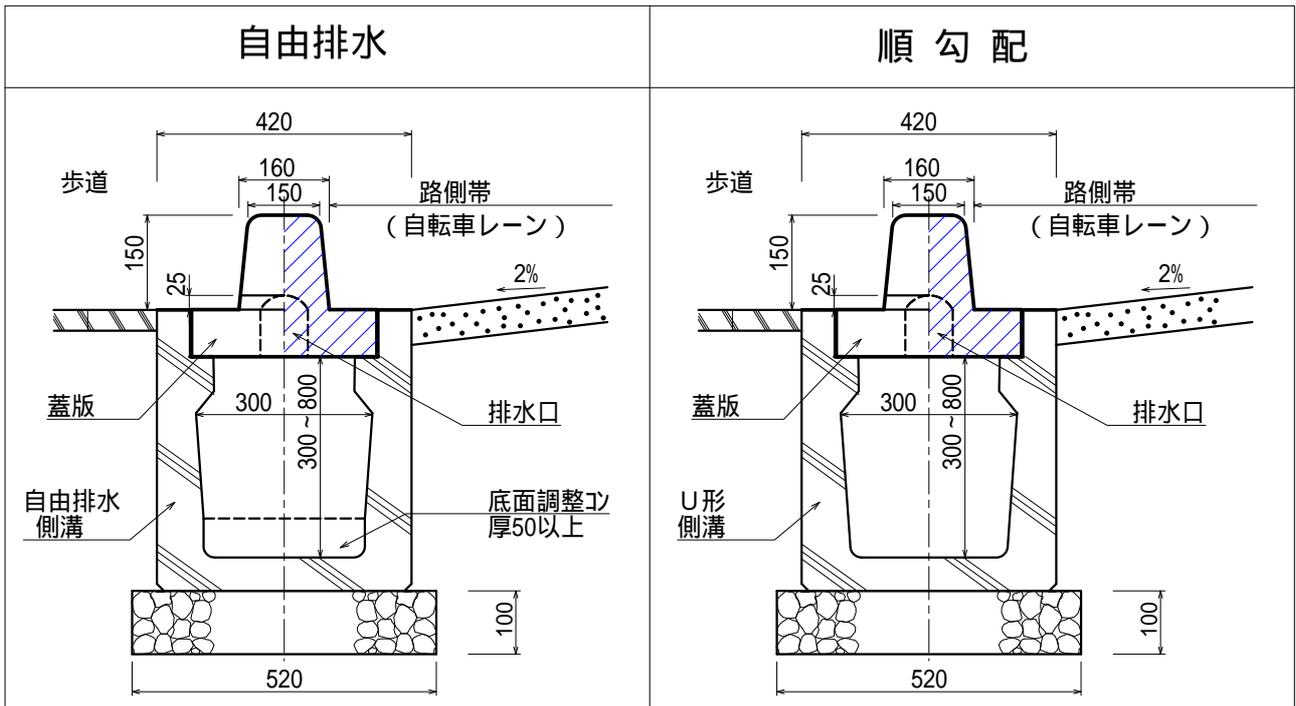


備考

1. 側溝本体は自由排水側溝か一般のU形側溝とし、直壁のほかJISタイプ(250相当)もOKです。
2. 蓋版はスリット付、網付のほかグレーチング、一般蓋版とします。
NETIS KK-100053-A「チェックード」
3. 蓋版枚数により境界ブロックを連続(1枚使用)か間隔付(2枚以上)となります。

設計・積算

標準断面図



- 備考 1. 側溝本体上面に歩車道境界ブロックを設置するフラット型です。
 2. 排水性舗装の浸透水は側溝本の流入口によります。(図示省略)
 3. U形側溝の排水勾配も必要に応じ底面調整コンクリート打設(付着安定が条件)。

材料費及び直接工事費 積算表

10m当り

区分・名称・仕様			単位	自由排水			順勾配		
				数量	単価	金額	数量	単価	金額
材 料	本 体	L=2,000 (390~850kg)	個	5.0			5.0		
	ロング境界蓋	L=1,500 (144kg)	〃	6.7			6.7		
	蓋版	L=500 (31~33kg)	〃	6.7			6.7		
	コンクリート	24-20	m ³	0.15			-		
	基礎材	C-40	〃	0.52			0.52		
工 費	直接工事費	本 体	m	10.0	2,850		10.0	2,850	
		ロング境界蓋	個	6.7	660		6.7	660	
		蓋 版	〃	6.7	240		6.7	240	
合 計									

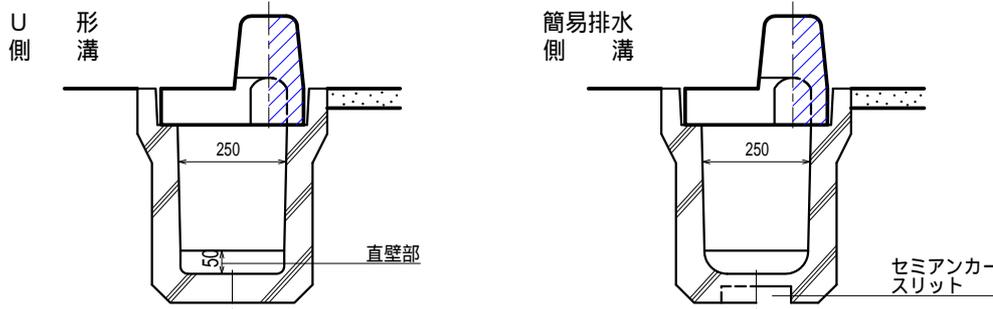
- 備考 1. コンクリートは調整厚50mmの場合
 2. 直接工事費は市場単価(物価版 関東地区 2014.7月版)によります。

技術概要

技術名称	フラット街渠	副題	フラット歩車道境界ブロック ロング側溝蓋
開発目標	自由排水側溝の上面にフラット歩車道境界ブロックを固定するため中央部を落とし蓋と一体化し、着脱も可能とする。		
概要	<p>何について何をやる技術なのか 自由排水道路側溝本体の上面にフラット歩車道境界ブロックを落とし蓋と一体化で固定し、路面排水口及びスリットとも直接露出のない安全構造で境界ブロック直下に連続排水ラインを形成する。</p> <p>従来はどのような技術で対応していたのか 自由勾配側溝においては、本体の上面に直接境界ブロックを固定しにくく、側面に併設している。</p>		
期待される効果	<p>用途拡大 自転車レーンはじめフラット歩車道境界路側帯に適合する既設側溝の改良更新にも用途拡大する。</p> <p>側溝施設として向上 道路の維持や路面排水の向上に資するものとなる。</p>		
展望	<p>生産流通は従来品と同じままで活性化 側溝本体は一般品をさらに活用するものとなる。</p> <p>国が示すガイドラインに適合。 自転車通行空間の設計において安全と排水性が高まる。</p> <p>設計自由度が向上。 着脱が自在で安価、多様な設計条件に対応できる。</p>		
特許	別途開示	技術評価	NETIS KK-100053-A 連続スリット付側溝蓋「チェックカード」

適用一般

ロング境界蓋は“L形”もOK。
さらに
U形側溝は一般製品の他、セミアンカースリット付簡易排水タイプ等によれば普通施工と底面調整の2通りに使用できます（別途資料参照）。



警告 製品が落下したときに大事に至らないように、次の事項をお守りください。

- ⊗ 吊り下げ中、製品の下に入ることは厳禁です（製品が落下した時に死亡事故の恐れがあります）。
- ⊗ 製品の反転をする時は、製品が落下しても支障のない位置で行い、吊金具側に立たないでください。（ワイヤー吊金具がハネたり、製品が横転して事故の原因になることがあります）。

自由排水側溝及びU形一般品をもっと活用します。

水路技術研究会

<http://www.suiroken.jp/>

製造販売（地域別・五十音順）

北海道

岩手・青森県

茨城・栃木・千葉県

千葉県

千葉県

千葉県

千葉県

埼玉県

埼玉・群馬・栃木県

埼玉・千葉・茨城県

埼玉・群馬県

埼玉・群馬県

東京都・神奈川・静岡・岩手県
宮城・福島・栃木・山梨県

神奈川県

山梨県

長野県

新潟・富山・石川県

新潟・青森県

石川県

静岡県

静岡・滋賀県・京都・大阪府
奈良・三重・和歌山県
兵庫・鳥取・大分県

岐阜県

滋賀県

滋賀県・京都府

兵庫県

岡山・広島・鳥取県・大阪府
兵庫・愛媛・高知・徳島県

島根・鳥取・広島県

島根県

香川・愛媛・高知・徳島県

福岡・佐賀県

大分・福岡県

大分県

熊本県

熊本県

鹿児島県

株式会社上田商会

セイナン工業株式会社

株式会社武井工業所

三洋コンクリート工業株式会社

千葉コンクリート株式会社

花沢建材工業株式会社

有限会社三滝コンクリート工業

埼玉県コンクリート製品協同組合

株式会社日東

共栄建材工業株式会社

柳沢コンクリート工業株式会社

矢作コンクリート工業株式会社

東京セメント工業株式会社

豊国コンクリート工業株式会社

中央コンクリート工業株式会社

共和興業株式会社アズミック共和

株式会社アドヴァンス

永井コンクリート工業株式会社

佐々波コンクリート工業株式会社

菅尾工業株式会社

インフラテック株式会社

株式会社丸治コンクリート工業所

セキサンピーシー株式会社

平成工業株式会社

兵庫県コンクリート製品協同組合

ランデス株式会社

株式会社ランコン

株式会社イズコン

四国V S工業会

大協コンクリート株式会社

株式会社スオウ

株式会社吉原

熊本不二コンクリート工業株式会社

三和コンクリート工業株式会社

株式会社シートック

協賛会社（加入順）

株式会社フォーテック

トヨタ工機株式会社

株式会社チヨダマシナリー

三山工業株式会社

ジャパンライフ株式会社

平成30年12月版

水路技術研究会 事務局

東京都杉並区桃井 3-7-1-301

行政書士 大嶋事務所

TEL / FAX : 03-3397-0501

分室・セルテック株式会社

東京都八王子市大横町 2-5

TEL : 042-365-8717 / FAX : 8719

関東支部

開発分室・矢作コンクリート工業株式会社

埼玉県川口市中青木1-9-27

TEL : 048-255-3180 / FAX : 452-8778